

## 2018 年度前期 授業改善アンケート集計結果に対するコメント

### —キャリアセンター—

キャリアセンター長 相原 章

全学共通教育科目のキャリアセンター開講科目についてアンケートが実施され、延べ 188 名の学部生のみなさんからご協力を頂きました。この場を借りて、お礼申し上げます。また、今回もアンケートの実施にあたり貴重な授業時間中にご協力頂きました先生方にも厚くお礼申し上げます。

今回の授業改善アンケートは、実施対象科目数 9 科目（実施必須科目数 6、実施任意科目数 3）のすべての科目で実施されました。その集計結果についてコメントを行いたいと思います。

授業の満足度を示す「この授業は総合的に判断して自分にとって有意義だった」の回答平均値は、5 段階評価で 4.58 でした。この「この授業は総合的に判断して自分にとって有意義だった」とのあいだで強い正の関係がみられたのが、「この分野への興味・関心が引き起こされた」（相関係数：0.76）、「この授業のレベルはあなたにとって適切であった」（相関係数：0.60）、「教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかった」（相関係数：0.56）でした。

この結果は、キャリアセンターが開講している科目の多くで、受講者の興味・関心を刺激する工夫された授業が展開されていることをあらわしていると思います。伺った話によりますと、先生方の中には、本学が包括協定を結んでいる企業との連携授業であったり、グループワークやディスカッション中心の講義、外部講師の招へいを中心とした講義などを行っていました。受講者の思考力や実践力を培わせるためのファシリテーターとしての役割も十分に発揮して頂いた結果だと思えます。

一方で、「1 回分の授業にあたり、授業時間外の事前・事後学習のために費やした平均の時間（h）は・・・」という質問に対し、36.4%の受講者が「ほとんどしていない」と回答しています。「30 分未満」と回答した受講者と合算すると、60.9%にもなります。新しい知識などの理解や定着を考えると、予習・復習に費やす時間を如何に確保させるかといった工夫が必要であると考えます。

今回のアンケート結果でみられた「優れた」ところについては、今後も継続して伸ばし続け、「気になる」ところについては改善を進め、授業の質的向上に努めていきたいと考えます。

以上